



例題と解説

例題 1

A町とB町の道のりを一の位で四捨五入すると270kmになりました。A町とB町の道のりは何km以上何km未満ですか。

答え 265km以上 275km未満

[例題 1 の解説]

例えば、15以上20未満の整数は15から19です。

例えば、15以上20以下の整数は15から20です。

265km以上 … 265kmと等しいか、またはそれより長い

275km以下 … 275kmと等しいか、またはそれより短い

275km未満 … 275kmより短い

一の位で四捨五入して270kmになるということは265km以上275km未満です。

「265km以上275km以下」は275kmが入ってしまいます。275を一の位で四捨五入すると280になるのでまちがいです。

「265km以上274km以下」では274.7kmのように274kmより長く275kmより短い場合を入れていないのでまちがいです。

274.3kmや274.7kmを一の位で四捨五入すると270kmになります。

例題 2

それぞれ四捨五入して千の位までのがい数にして、およその答えを見積もりなさい。

$$7874 + 9235$$

答え 17000

[例題 2 の解説]

千の位までのがい数にするので、それぞれ百の位で四捨五入します。7874は8000、9235は9000となります。

$$8000 + 9000 = 17000$$

$7874 + 9235 = 17109$ なので本当の答えとおよその答えが近いことがわかります。



例題と解説

例題 3

それぞれ四捨五入して上から1けたのがい数にして、およその答えを見積もりなさい。

$$413 \times 7749$$

答え 3200000

[例題 3 の解説]

それぞれ上から1けたのがい数にすると413は400、7749は8000となります。

$$400 \times 8000 = 3200000$$

$413 \times 7749 = 3200337$ なので本当の答えとおよその答えが近いことがわかります。

ポイントまとめ

- ・ □以上…□と等しいか、またはそれより大きい。
- ・ □以下…□と等しいか、またはそれより小さい。
- ・ □未満…□より小さい。
- ・ がい数にして計算をするとおよその答えを見積もることができます。